

- ②～③ サマーチャレンジボランティア特集
- ④ 地域共生社会学習会、福祉タオル贈呈
- ⑤ 福祉体験…
たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ 共同募金／3か月の予定／職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス <http://takagi-syakyo.com/>
●印刷● 龍共印刷株式会社

中学生大活躍！ サマーチャレンジボランティア



コロナで様々な活動が制限された今年の夏でしたが、感染対策を講じながら、今年も中学生・高校生対象の「サマーチャレンジボランティア」が実施されました。

今回、喬木中学校と地元各高校のご理解ご協力をいただき、なんと中学生99名、高校生10名という多くのみなさんが、地域のサロンや高齢者宅への訪問、児童クラブや福祉施設での交流など、村内あちこちで様々な活動に参加してくれました。初めての経験に戸惑いながらも笑顔をいっぱい届けてくれた中学生・高校生のみなさん、迎え入れてくれた地域のみなさん、ありがとうございました。地域のふれあいの輪がひろがり、素敵な思い出ができたことでしょう。

サマーチャレンジボランティアの様子から

「中学 3 年生は大切な時だから、頑張って。また顔を見せてください。」と利用者さんから温かいメッセージも頂きました。

「最初はどんな感じかわからなかったけれど、皆さんがとても気さくに話しかけてくれて思っていた以上に充実した」

「おいちゃんにどんな接し方をすればいいかわからなくて緊張したけど、話すことができて良かった」



いきいきクラブ

午後のお昼寝から目覚めた利用者さんに、丁寧に茶配りをしました。レクリエーションでは、利用者さんにボールを渡すなど一緒に楽しみました。



「おばあちゃん、おじいちゃんとお話することができて楽しかった」

「ポッチャと一緒にやって交流することができて良かった」



デイサービス



「初対面の子も気軽に話しかけてくれて、1日中いたいくらい満足できた」

「最初はないむのが大変だったが、話していくうちに解けて楽しく遊ぶことができた」



こども学遊館

「人権の花運動」として、小中学校で子どもたちが育てたミニひまわりを高齢者宅や村内福祉施設に中学生が民生委員さんとお届けしました。

「ひまわりを渡したときに『ありがとう』と喜んでくれてうれしかった」

「自分も自然と笑顔になりボランティアをやった良かった」



花配り活動

たかぎボランティア・地域活動情報誌

さくみち



第 71 号

サマーチャレンジ大特集

2021 年 10 月発行

編集・発行

さくみち編集委員会

ボランティアセンター

Tel:33-5520 fax:33-5330

Mail:takagi-chiiki@siren.ocn.ne.jp

サロンにもサマーチャレンジボランティアが来てくれました！

お茶の準備をした後、なすなカフェの心得や歴史を学んでもらいました。

お客さんに寄り添って一緒に話をするなど、一生懸命に取り組む姿が見られました。



なすなカフェ

「色々な方と話ができたし、人の役に立てうれしかった」
「初めてのボラで難しいところもあったけど、参加者の人達が笑顔になってくれてうれしかった」



私達の知らなかったことや、昔の話をしてもらえて楽しかったな～



会場設営から歌集の配布、みんなの前で歌うなど、どの生徒さんも役割を持って積極的に活動しました。

南うたおう会

「皆さんと歌うことができて楽しかった」



会場設営、消毒、お菓子の用意、高齢者とのお話、歌など、中学生がたくさん活躍してくれました。

北しあわせ会

「久しぶりにおばあちゃん達と話せたし、昔の話が聞けて良かった」
「また、来たい」





地域共生社会をめざす

地域福祉研修会を開催しました

7月16日(金)社協主催による地域福祉研修会を開催し、民生児童委員、村会議員、役場職員、社協役職員など48名の参加がありました。講師には、長野県社会福祉協議会の山崎博之氏をお招きし、地域共生社会実現に向けての講演をお聴きしました。

【講演内容】

地域社会の課題や国の施策・地域共生社会の目指すものについて解説。地域に存在する様々な生活課題を「他人事」ではなく「我が事」として考え、地域住民みんなで支え合うことが大切。

【参加者からの感想】

・「我が事・丸ごとの地域共生社会に向けて、民生委員として今よりももう一步ふみ込んで関わりたい」
・「福祉サービスだけでは支えられない。地域のみなさんと、共に支え合うことと、地域力の重要さを実感」



「福祉タオル」ありがとうございます

喬木村高齢者クラブ連合会と JA みなみ信州女性部喬木支所よりたくさんのタオルの贈呈があり、頂いたタオルは小中学校や保育園、福祉施設へ配りました。



喬木村高齢者クラブ連合会3役様



JAみなみ信州女性部喬木支所3役様

お配りした施設よりお礼が届きました。



南保育園から

この度は、喬木村社協地域福祉課を通じて、喬木荘へタオルをご寄贈いただき、誠にありがとうございました。高齢者クラブのみなさまのご厚情を有難く承りまして、喬木荘利用者様のために使わせていただきたいと思います。

喬木荘

体験して交流して発見！ 喬木中学校3年生福祉体験

6月9日、7月1・2日の計3日間、各事業所で福祉体験学習を行いました。

デイサービス

初めは緊張されている様子でしたが徐々に笑顔も見られ、車椅子の乗車体験や製作等をし、生徒考案のレクリエーションで利用者様と共に、とても盛り上がりました。



車いすにもタイヤの大きさや足置きが外へ開くとか種類があることを知った。



自分たちの考えたレクで利用者さんが笑顔になってくれてうれしかった。

宅老所

皆さんとても若々しくて私達も元気を貰いました。



自分達の考えたゲームや折り紙で、利用者さんがとても楽しんでくれて本当に嬉しかった。今回の体験で、笑顔で話す事や相手の立場に立って考え行動する事の大切さを学びました。

いきいきクラブ

初めは、利用者さんとのように接してよいかかわらず戸惑いが見られましたが、体験をしていく中で、交流ができました。



人とのふれあいの大切さを感じた。

利用者のみなさんから、「ありがとう。楽しかった。また来てな。」と言われて、うれしかった。

たかぎボランティア・地域活動情報誌

さくみち



第 72 号

2021 年 10 月発行
編集・発行

さくみち編集委員会
ボランティアセンター

Tel33-5520 fax33-5330

Mail:takagi-chiiki@siren.ocn.ne.jp

新しく「さくみち」編集委員になりました。伊久間の木下 瑋子です。
『人と人がつながり、みんなで地域を考える』そんなことが伝わる「さくみち」ができればと、今思っています。
コロナでいまひとつ元気が出ない毎日。
(9月号もコロナで委員会が開けず、発行することができませんでした。残念!) 紙面から少しでも元気が伝われば嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



『赤い羽根共同募金』ご協力のお願い

10 月 1 日から 12 月 31 日まで共同募金運動が始まります。

赤い羽根共同募金は目標額や配分の方法を定め、その公表が社会福祉法により定められた募金活動です。目標額を決め計画された地域福祉活動等をすすめて、村民の方々のために使わせていただきます。

昨年に引き続き本年も募金額は一戸あたり 500 円の目安とさせていただきます。

ご理解とご協力をお願いいたします。



- 11月の予定** 心配事相談…… 11日(木) 10:00~11:00 アスボ
結婚相談……… 20日(土) 19:00~20:00 社協相談室
なずなカフェ… 9日(火) 10:00~12:00 アスボ
なずな予防カフェ… 祝日のためお休みします
地域の縁側 ボランティア健康相談室… 毎週月曜日(祝日除く) 17:00~18:00
- 12月の予定** 心配事相談…… 3日(金) 10:00~11:00 アスボ
結婚相談……… 18日(土) 19:00~20:00 社協相談室
なずなカフェ… 14日(火) 10:00~12:00 アスボ
なずな予防カフェ… 28日(火) 10:00~12:00 アスボ
地域の縁側 ボランティア健康相談室… 毎週月曜日(祝日除く) 17:00~18:00
- 1月の予定** 心配事相談…… 13日(木) 10:00~11:00 アスボ
結婚相談……… 22日(土) 19:00~20:00 社協相談室
なずなカフェ… 11日(火) 10:00~12:00 アスボ
なずな予防カフェ… 25日(火) 10:00~12:00 アスボ
地域の縁側 ボランティア健康相談室… 毎週月曜日(祝日除く) 17:00~18:00

※新型コロナウイルス感染症の状況等により、中止や延期等、日程変更される場合もあります。

職員のかんたん

暑かった夏も過ぎ、少しずつ秋らしくなり過ごしやすくなったこの頃です。店頭には様々な秋の食材が並び、食べ物の美味しい季節となりました。秋の味覚でもある松茸が、ここ二年は不作で入手困難となっていました。今年はずっと年々豊作となり、価格も昨年の半額以下となっているそうです。最近買い物に出かけると、松茸を買い求める大勢の人を見かけます。

松茸ご飯や、土瓶蒸しなど秋の味覚の王様でプチ贅沢をして楽しく、充実した時間を過ごし、秋を満喫したいものです。

M.K

ご意見・ご要望を
お寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

